

# 興徳寺便り

第145号  
(復刊第70号)  
令和6秋彼岸

詩人吉野弘【大正15年山形県酒田市に生まれ、81歳で富士市に転居、平成26年同市自宅にて歿】の教科書にも掲載された代表作『夕焼け』です。

一、眼施 優しい目つきで接する。二、和顔施 おだやかな顔つき、笑顔で接する。三、愛語施 思いやりある言葉を使う。四、身施 人が嫌がることも率先して取り組む。五、心施 他人の為に心を配り、喜び、悲しみを共有する。六、壮座施 他人の為に座席を譲る。七、房舎施 雨や風をしのご所をあたえる。

## 夕焼け 吉野弘



いつものことだが電車は満員だった。そしていつものことだが若者と娘が腰をおろしとしよりが立っていた。うつむいていた娘が立ってとしよりに席をゆずった。そそくさととしよりが坐った。礼も言わずとしよりは次の駅で降りた。娘は坐った。別のとしよりが娘の前に横あいから押されてきた。娘はうつむいた。しかし又立つて席をそのとしよりにゆずった。としよりは次の駅で礼を言って降りた。娘は坐った。二度あることはと云う通り別のとしよりが娘の前に押し出された。可哀想に。娘はうつむいてそして今度は席を立たなかった。次の駅も次も下唇をギョツと噛んで身体をこわばらせて……。僕は電車を降りた。固くなつてうつむいて娘はどこまで行つたらう。やさしい心の持主はいつでもどこでもわれにもあらず受難者となる。何故つてやさしい心の持主は他人のつらさを自分のつらさのように感じるから。やさしい心に責められながら娘はどこまでゆけるだろう。下唇を噛んでつらい気持で美しい夕焼けも見ないで。

この詩の原型は1958年雑誌「種子」に発表されたものだそうです。近頃の優先席でスマホをいじっている若者も70年近いムカシの若者も大して変わらない事を知りました。そしてまたこの娘さんの気持ちもよくわかるなと思えます。二度目で席を譲って三度目はしなかった・・・その時の居心地の悪さ、どうしたらいい？寝たふりする？

『無財の七施』という教えがあります。お金や物がなくてもできる布施修行のことです。

この6番目、他人のために席を譲ることが自分の為の修行、魂の成長のために有効ならばやってみる価値はあるのでは。三人めの老人が目の前に立たれた時「またか〜」ではなく自然体ですっと立てたら気持ちいいですね。でも疲れていてそれどころではなかったならそれはそれ、座れたありがたさを受けとめてその時の自分の心を客観的に見つめてみましょう。それから譲っていただいた方は「ありがとうございます」と声を出してみましよう。それが「愛語施」となります。むしろこちらの方が大事ですね。

## 暮れまでの予定

9月22日(日) <sup>ひがんえ</sup>**彼岸会** 10:00～法要。10:40～法話  
恒例の秋のお彼岸の法要です。お経のいっばいあがった卒塔婆をお墓に建てましょう。  
卒塔婆のお申込みはお早目に(2千円です)。

9月22日(日) 15:00～写経 16:00 <sup>しょうだいぎょう</sup>「唱題行」(毎月第4日曜日)

10月27日(日) 15:00～写経 16:00 <sup>しょうだいぎょう</sup>「唱題行」(毎月第4日曜日)

11月10日(日) <sup>えしき</sup>**お会式** 10:00～法要～法話  
日蓮聖人743遠忌です。法要の後は本堂にてヴァイオリンとコントラバスと尺八の  
一流7口の演奏家による演奏会を行います。この3つの楽器の組み合わせは世界唯一、  
また終了後の庫裏でのお食事も準備してお待ちします。どうぞお楽しみに。

11月15日(金)～11月16日(土) 団参 「龍口寺」(日蓮聖人龍/口法難のお寺)～  
箱根 お檀家さん同士の楽しいバス旅行です。お友達を誘って是非ご参加ください。

11月24日(日) 15:00～写経 16:00 <sup>しょうだいぎょう</sup>「唱題行」(毎月第4日曜日)



7月21日今年2回目の「興徳寺をきれいにする日」  
とても暑い日でしたが皆さんよくがんばってくださいました。





お施餓鬼と川施餓鬼



点火式



8月16日、恒例の施餓鬼法要と川施餓鬼のタイマツ行列がおこなわれました。法要の御宝前の灯を頂いて柚野小4年生の川手仁華（にいな）さんが点火。参列者が燃えるタイマツを手に500m離れた芝川まで運び、水向供養を執り行いました。伝統の灯を今年も燃やす事が出来た事、なによりでした。



【写真提供】  
高瀬幹雄  
松永沙織

### 住職のひとりごと

＊今年の異常な暑さを何と表現したらいいのか、「お暑うございませう」なんて挨拶が成り立たないようなレベルです。興徳寺の本堂にはクーラーがないので法要の時は、扇風機10台を回しておりますが、中の温度で33℃くらいまで上がってしまうので、あまり役にもたちません。＊そんな中での恒例の「施餓鬼法要と川施餓鬼タイムツ行列」、本年も8

月16日に無事執り行うことが出来ました。私が子どもの頃参加した行事、かつては芝川、富士川流域のあちこちで行なわれていたようですが今はここだけになりました。昨年を引き続き今年も台風の直撃予想がありましたが、影響を受けることなく実施できましたこと本当にありがたかったです。また参加者も増えて今年は50数名でした。子どもさんの参加が増えたことと新盆を迎えたご遺族に呼びかけた結果でしょうか。燃えるタイムツを持って故人を偲ぶことで深い想

いがつなごうかと思ひます。＊《『お盆式』で「コンサート」》今回は法要の後の法話に代えて、日頃親しくお付き合いさせていただいているコントラバス（とても大きなヴァイオリンのような形の楽器）奏者の白土文雄さん、ヴァイオリン奏者の河村典子さん（スイス在住）ご夫妻と日本を代表する国際的尺八演奏家・田嶋直土さんの演奏会『想・創・奏く出逢いの不思議』を企画しました。この3つの楽器の組み合わせは世界にも例がないそうです。どうぞお楽しみに。

### お彼岸のお経廻りの予定

- 9月1日(日) 三島・清水・静岡
- 2日 稲子・芝川・大久保
- 3日 精進川・下条の一部
- 4日～6日 下条残り・青木・馬見塚、外神
- 7日(土) 万野原新田・大岩・小泉
- 8日(日) 富士市
- 9日 宮原・富士見ヶ丘・若の宮町  
淀師・中島町・淀川町・穂波町
- 10日 大中里・泉町・貴船町・野中・  
星山・田中町・源道寺
- 11日 北山・上井出・山宮・栗倉・  
舟久保町・村山～柚野
- 12日 宮町・西町・大宮・豊町～柚野
- 13日 柚野 14日(土) 由比、内房、  
大久保、～柚野 他希望者
- 15日(日) 希望者、柚野

＊日付が変わることがあります。  
変更等希望する方、ご連絡ください。



＊《バス旅行のご案内》恒例の秋のバス旅行、今年は一泊二日で藤沢市・龍口寺（りゅうこうじ）日蓮聖人が首を刎ねられる寸前、江の島の方から光る物体が飛んで

タイゼン・ケイタイ ; 090-2180-8591

きて難を逃れたという処刑場の跡地に建てられたお寺）に参拝し江の島から湯河原温泉いすゞホテル泊、翌日は箱根の紅葉を楽しみ芦ノ湖の海賊船遊覧、というコースです。毎回参加の常連さんで参加できない方が多く、20名の最低定員確保がギリギリ状態です。檀家さん同士の気楽な楽しい旅行です。是非ご参加ください。＊《彼岸花のこと》彼岸花の季節です。暑さの影響は分かりませんが、9月の20日頃から月末くらいが見頃かと思われまます。上の駐車場は閉鎖しますがお檀家さん、墓参の方、お寺に用事の方はどうぞ。10万本の彼岸花を楽しんでください。＊たまに東京などに行って電車に乗る時、席を譲るのがメンドクサイのと恥ずかしいとでいつも立っています。そしたら先日若い娘さんがすっと立ち上がって「どうぞ」と。「エッ」と思いましたが「ありがとう」と言っ

【泰然記】

て座りました。＊今回のイラストは富士市の西川千恵子さん、巻頭の詩のバックは沙織です。